

平成28年度被災者支援総合交付金（第1回） 交付可能額通知について

平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）について、本日、以下のとおり交付可能額を通知する。

<ポイント>

1. 28年度に被災者支援総合交付金を大幅に拡充（予算額：59億円⇒220億円）し、支援を充実。

①関連事業の統合（※1）により、被災者支援活動を一体的に支援。

②支援メニューの追加（※2）により、復興の進展に伴い、被災自治体が直面する課題への対応を支援。

※1 仮設住宅サポート拠点運営事業、被災地健康支援事業

※2 被災者支援総合事業（復興庁所管）

- ①住宅・生活再建支援事業
- ②コミュニティ形成支援事業
- ③「心の復興」事業
- ④被災者生活支援事業
- ⑤被災者支援コーディネート事業
- ⑥県外避難者支援事業

2. 第1回配分では、約152億円を配分。

住宅・生活再建の相談支援、住宅移行期のコミュニティ形成、心の復興、県外避難者支援など、被災地が直面する重要課題への対応を重点的に支援。

1. 交付可能額について

被災3県をはじめ、72自治体及び74団体から提出された事業計画に対して行う交付可能額は以下のとおり。

事業費15,319百万円、国費15,177百万円

※計数は精査の結果、今後変動があり得る。

詳細は別添1（自治体）及び別添2（団体）の通り。

2. 主な事業（計数は交付可能額）

1. 被災者支援総合事業

≪(1)～(6)計 5, 933百万円（355事業）≫

(1) 住宅・生活再建支援事業

①住宅・生活再建に関する支援センターの設置・運営

【岩手県、宮城県、福島県】

②住宅・生活再建の相談員の配置【大船渡市、仙台市、石巻市、多賀城市等】

≪823百万円（30事業）≫

(2) コミュニティ形成支援事業

①災害公営住宅等での入居者同士の交流支援、自治会の活動支援

【釜石市、多賀城市、岩沼市等】

②災害公営住宅等のコミュニティ支援員の配置【陸前高田市、富岡町等】

≪955百万円（54事業）≫

(3) 「心の復興」事業

①農業：農作業の実施や、収穫時の料理教室の開催【団体】

②漁業：被災漁業者が子どもの漁業体験機会を提供【久慈市、福島県】

③ものづくり：手芸品の製作【団体】

④伝統文化：民俗芸能継承の活動【福島県】

⑤世代間交流：学生が仮設住宅に居住し入居者と交流【団体】

≪520百万円（101事業）≫

（自治体112百万円（32事業））
（団体408百万円（69事業））

(4) 被災者生活支援事業

①仮設住宅で日常の困り事を支援する生活支援員の配置【富岡町等】

②仮設住宅巡回バス運行による高齢者等の通院・買い物支援【川俣町等】

③仮設運動場等への児童の送迎支援【宮古市等】

≪2, 659百万円（143事業）≫

(5) 被災者支援コーディネート事業

○被災地での支援体制の充実、企業CSR活動と被災地ニーズのマッチング

【団体】

≪175百万円（7事業）≫

〔 自治体 2 4 百万円（3 事業）〕
〔 団体 1 5 0 百万円（4 事業）〕

（6）県外避難者支援事業

- ①県外避難者支援を行う団体助成、県外避難者への相談・交流会開催【福島県】
- ②相談員の配置、避難者支援拠点の運営【山形県、新潟県等】

≪ 8 0 0 百万円（2 0 事業）≫

2. 被災者見守り・相談支援事業

- 生活支援相談員の配置による見守り【岩手県、宮城県、福島県等】

≪ 4, 6 0 2 百万円（1 1 事業）≫

3. 仮設住宅サポート拠点運営事業

- 仮設住宅隣接のサポート拠点で高齢者等の総合相談、生活支援
【岩手県、宮城県、福島県等】

≪ 1, 2 3 9 百万円（1 2 事業）≫

4. 被災地健康支援事業

- 保健師等による仮設住宅への巡回保健指導【岩手県、宮城県、福島県】

≪ 6 0 5 百万円（1 2 事業）≫

5. 被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業

- ①遊び場の確保（遊具の整備、子育てイベント）【岩手県、宮城県、福島県等】
- ②親を亡くした子ども等への相談援助【岩手県、宮城県、福島県等】
- ③保育所等の給食検査【福島県、郡山市、いわき市等】
- ④保育料減免事業【宮城県等】

≪ 2, 4 7 3 百万円（5 2 事業）≫

6. 福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業

- 県内の子供を対象として、学校等が実施する自然体験や交流活動の支援
【福島県】

≪ 3 2 4 百万円（1 事業）≫

《別添資料》

- ・別添１：平成２８年度被災者支援総合交付金（第１回）交付可能額（自治体別）
- ・別添２：平成２８年度被災者支援総合交付金（第１回）交付可能額（団体別）
- ・別添３：被災者支援総合交付金の概要
- ・別添４：平成２８年度「心の復興」事業 主な取組事例について

本件連絡先：

（復興庁被災者支援班）

担当：諏訪、後藤

電話：０３－５５４５－７４８１

(別添1)

平成28年度被災者支援総合交付金(第1回) 交付可能額(自治体別)

(千円)

	自治体名	交付可能額【国費】
1	岩手県	1,897,297
2	盛岡市	60,878
3	宮古市	61,005
4	大船渡市	35,147
5	北上市	3,030
6	久慈市	6,007
7	陸前高田市	168,140
8	釜石市	176,768
9	奥州市	18,721
10	大槌町	318,511
11	山田町	14,792
12	岩泉町	33,703
13	野田村	20,102
14	宮城県	2,891,187
15	仙台市	576,369
16	石巻市	303,664
17	名取市	1,656
18	塩釜市	3,413
19	気仙沼市	6,000
20	多賀城市	117,607
21	岩沼市	61,731
22	東松島市	14,803
23	亘理町	16,625
24	山元町	103,624
25	七ヶ浜町	2,968
26	女川町	92,183
27	南三陸町	49,030
28	福島県	5,133,013
29	郡山市	314,276
30	いわき市	124,634
31	須賀川市	156
32	相馬市	143,684
33	田村市	7,927
34	南相馬市	181,189
35	本宮市	2,200

36	川俣町	26,860
37	鏡石町	3,307
38	矢吹町	3,963
39	広野町	96,035
40	檜葉町	117,739
41	富岡町	311,703
42	川内村	23,000
43	大熊町	19,071
44	双葉町	96,690
45	浪江町	110,052
46	葛尾村	107,181
47	新地町	29,948
48	飯館村	102,496
被災3県以外		
49	北海道	582
50	札幌市	2,179
51	函館市	126
52	秋田県	288
53	秋田市	252
54	山形県	87,952
55	茨城県	2,952
56	埼玉県	3,079
57	千葉県	5,519
58	東京都	1,943
59	新潟県	56,836
60	新潟市	2,816
61	山梨県	2,530
62	長野県	5,100
63	岐阜県	169
64	愛知県	41,900
65	堺市	565
66	神戸市	379
67	西宮市	216
68	鳥取県	8,466
69	岡山県	1,137
70	岡山市	3,380
71	愛媛県	72
72	松山市	206
自治体 計		14,238,729

(注) 計数は精査の結果、今後変動があり得る。

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
岩手県					
1	三陸キッズミュージカル「希望の飛沫プロジェクト」	岩手県沿岸部の被災者から参加者を募集し、練習を積み重ね、ミュージカルとして披露する。文化芸術活動を通じて「心の豊かさ」と「心のゆとり」を醸成し、自暴自棄になりがちな心を鎮め、今を冷静に見つめ、将来を展望する人間力を培う一助とする。	特定非営利活動法人 ゆう	洋野町、山田町、大船渡市	4,500
2	高齢者を好齢者にする被災地「好齢交流」事業	陸前高田市広田町長洞地域の未来を見据え、そこに住み生きている一人一人が豊かで幸せな生き方、働き方を持続し、地域主体で次世代を育む環境を創造していくことを目的として、高齢者自らが支えあい助け合いながら作業を行うことで居場所と出番を確保し、被災高齢者の孤立防止と心のケア、生きがいづくりをすすめる。	一般社団法人長洞元気村	陸前高田市	4,200
3	仮設住宅住居者等の生きがいづくりとしての農園運営及びものづくり支援事業とサロン運営	農園内での野菜、ひょうたんづくりや、手作りの工芸品等を作成する事業への参加をきっかけとして、自主的な健康づくりや地域の諸活動への積極的な参加につなげる。そのことにより被災者の心身のケアを進めていき「心の復興」を成し遂げることを目的とする。	新生おおつち	大槌町、釜石市	3,300
4	三陸鉄道「〇〇仮設住宅(災害公営住宅)号」運行事業	仮設住宅及び災害公営住宅でのコミュニティ形成の強化と被災者の孤立防止を目的に、三陸鉄道を活用した貸切列車「〇〇仮設住宅(災害公営住宅)号」を運行する。住民によるワークショップに岩手大学生も参加して世代間交流をしながら、貸切列車について検討し、そこで決定した内容で実際に住民・大学生が三陸鉄道に乗車する。楽しみながら地域資源を活用することで地域創生の要素も取り入れながら、心の復興につなげる。	株式会社岩手日報広告社	大船渡市、釜石市	3,000
5	食でつなぐ人と地域 in 山田2016	山田町において、地域人材養成講座 共同農園の設置・運営 男の料理教室&発表会、地域住民いきいき交流会を行う。心身のケア、生きがいづくりによる「心の復興」を図り、コミュニティ形成の促進と未来に向けた人材育成を図る。	復興！船越地域協議会	山田町	7,000
6	地域コミュニティ再建支援	入居が進む災害公営住宅において、転入者向け歓迎会や親睦会の機会を創出し、団地内のつながりづくりと周辺地域との融合を同時に働きかけ、行政・社協・支援団体等とも連携しながら、住民主体のコミュニティ形成を図る。また、広く地域の復興を共に担う個人・団体との交流・つながりづくりを交えながら地域コミュニティの活性化を図る。	国立大学法人岩手大学	宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市	5,600
7	内陸避難者の生きがいづくりと沿岸住民との交流による心の復興事業	内陸市町村に移り生活を送っている高齢者に、避難先の市町村の枠を超えて同郷の内陸避難者が交流を図る『サロンにお邪魔』、内陸避難者と避難先住民をつなぐ『世代間交流』、内陸避難者が故郷市町村を訪問し、情報収取及び地元住民との交流を図る『ただいまバスツアー』の3つの取組を通じ、孤立防止や地域での共生を促していく。	特定非営利活動法人 いなほ	盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町、花巻市、北上市、奥州市	3,800
8	地域のつながりでつくるコミュニティプロジェクト	元気な高齢者がサロンや講座、農作業を通して技・知恵を持つ地域の先生として活躍できるようにし、また、農と福祉の連携を軸にし、従来、生活困窮者と呼ばれる人たちが参加できる場をつくっていく。新たな復興の担い手として力を発揮しながら、共に支え合うコミュニティの仕組みづくりを目指す。	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	陸前高田市	3,000
9	コミュニティ・カフェにおける高齢者の生きがい作りとメンタルヘルス支援	「認知症カフェ」の理念を拡げ、音楽、笑い、軽運動、ICT入門、茶菓作りなどをテーマとした参加型サロン、メンタルヘルス専門家による医療介護面での情報提供や相談の場を提供することにより、高齢者および家族・支援者が生きがいを持つことができるような居場所づくりを目指す。	認定NPO法人 心の架け橋いわて	大槌町	7,300
10	ひろがれ笑顔！つながれ元気！絵本の読み聞かせで今をかがやく！	被災者が子どもの読書の推進を目的とする読み聞かせ活動のノウハウを学び、それを実践に活かし生きがいづくりに結びつけるとともに、子どもとの交流・被災者相互の心の支え合いと促進し、被災者が子どもを見守る役割意識によりつながりと主体性を持つようにする。子供を中心にとらえながら地域全体を視野に入れたコミュニティ形成を図る。	読書ボランティアおはなしころりん	陸前高田市、住田町、釜石市、大槌町	1,300

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
11	心と心の交流・笑顔のミライ人材育成プロジェクト	女性による「未来創造」プロジェクトや「笑顔」と「未来」をつなぐ心と心の交流プロジェクトを行うことにより、新たなチャレンジをしようとしている村内外の若者たちと一緒に、村民自身が自発性を持てるような場を作っていく。	NPO法人のんのりのだ物語	野田村	8,700
12	「住宅・生活再建のための勉強会と悩み相談会」の巡回訪問と「はまってけらいん かだってけらいん」サロン活動と「着物リメイク」で【和】と『輪』と《笑》！プロジェクト	受けられる公的な支援制度の内容を分かりやすく紙芝居を使って説明しながらみんなで学んでいくとともに、個別の悩み相談会やお茶っこサロンを開催しながら、専門家へつなげていったり住民同士の情報共有の場を提供していく。また、着物リメイクなどの活動を、全国から支援でいただいた生地を再利用し、日常に着用できたり、使用できる「もの作り」を行うことによって命を吹き込み、「今を生きている」という感謝の思いを伝え、被災地外との交流を図っていく。	特定非営利活動法人 まあむたかた	陸前高田市、住田町	5,200
宮城県					
13	被災者への作業参加創出を通じた新たなコミュニティ形成事業	被災者に対し、封入作業等の軽易な作業の提供することを通じて、高齢者をはじめとする被災者のコミュニティ形成や生活再建、役割の再構築を図っていく。	一般社団法人パーソナルサポートセンター	仙台市および近隣市町	4,000
14	「心の農園」プロジェクト	被災者の孤立防止の視点から、生きがいを持って前向きに暮らしていける仕組みづくりに向け、農作業活動や料理教室、微生物農法講習会などを通して、地域活動への積極的な参加に繋げ、被災者の心身のケアを通して「心の復興」に寄与していく。	非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター	石巻市	4,600
15	石巻市復興記念公園予定地における後世への震災伝承	石巻市において、被災者自らが生きがいを感じながら語り部として継続して震災を伝承する機会を創出し、失われた街の記憶や震災資料にまつわる元居住者の思いとともに蓄積することで、震災により離散した住民が失った地域や時間とのつながりを回復すると共に、震災の記憶を教訓を後世へと伝承する。	公益社団法人みらいサポート石巻	石巻市	10,600
16	石巻市の仮設住宅、復興公営住宅でのコミュニティ形成支援事業	石巻市内の仮設住宅集会所、および復興公営住宅集会所にて、コミュニティ形成と住民の生きがい創出のため、サロン活動と談話・対話の時間を設定し、参加者より暮らしで困っている点等について聞き取りを行う。また、サロン活動に参加しない住民の様子を把握する為に、訪問活動とヒアリングを150件程度行う。拾いあげたニーズはサロン活動に反映し、支援ニーズによっては医療や法律など必要な専門家に繋いでいく。	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク	石巻市	3,300
17	石巻雄勝の漁業と観光で生きがいを創り、故郷と人の心の再生を図る	石巻市雄勝町において、地元被災者が首都圏の人々を対象とした漁業体験等の被災地ボランティアツアーを実行することで「心の復興」につなげていく。また、首都圏の人々に地元特産品を知ってもらう機会を作り、地元漁業関係者の今後の活力につなげていく。	一般社団法人復興支援士業ネットワーク	石巻市	2,500
18	人材育成と交流の場づくりによる地域協働の復興まちづくりプロジェクト	被災住民が生きがいをもって心豊かで安心して暮らすため「人材育成」を進める。また、地域資源を活用した交流農園や手創り市の開催、交流事業を通じて被災住民の「交流拠点＝場」の設置と、多様な課題解決の「ニーズマッチング」に取り組む。住民間の交流を促し、住民自らによる力強い復興コミュニティの基盤を構築する。	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナインタウン	登米市	6,600
19	東日本大震災からの復興のための移動コミュニティバス事業	自宅が大きな被害を受けたものの在宅で生活を送っている在宅被災者については、地域の支え合いが機能しにくい状況下にある。このようなコミュニティが再生しにくい地域を対象に、サロンを行う交流バスで訪問することで、交流のきっかけ作りを積極的に行い、心の復興を後押しする。	一般社団法人チーム王冠	石巻市	9,500
20	イシノマキ・ファーム＆フードアクションプロジェクト	石巻市内の休耕地を有効活用し、圏域の仮設住宅等に居住している方々のための農業体験の場として、「イシノマキ・ファーム」を展開する。収穫物は、「イシノマキ・マルシェ」や「イシノマキ食堂」などで披露し、地域住民との交流を促進する。自らが栽培した野菜の試食会に参加することで、自己肯定感を向上し、心の復興につながる仕組みを構築する。	特定非営利活動法人 Switch	石巻市	3,200

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
21	「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム[被災者対象]	岩沼の多重防衛のひとつであり復興のシンボルでもある「千年希望の丘」の植樹や育樹、その麓の新圃場「みんなの千年希望の丘ファーム(仮称)」での農業体験、被災沿岸地区にあるコミュニティー施設「岩沼みんなの家」での震災語り部や交流会を通じて、集団移転先や被災沿岸地区住民等の心身のケアと生きがいづくりを行い、コミュニティの再構築を図る。	岩沼復興アグリツーリズム協議会	岩沼市	3,700
22	沿岸部の地域をつなぐ新たなコミュニティ形成	地域ならではの生きがい作りと世代間交流を目的に、「ものづくり」「カフェ」「情報誌による地域交流」を実施し、宮城県沿岸地域を繋ぐコミュニティ形成のベースとなる活動を目指す。	一般社団法人 コミュニティスペースうみねこ	女川町、七ヶ浜町、多賀城市、石巻市	4,300
23	大学生によるコミュニティと体の元気づくり支援事業	石巻専修大学の学生を中心に、仮設住宅・災害公営住宅の生活実態調査を通じて住民間交流の実態を把握するとともに、「TAKE10体操教室」等によるコミュニティ形成の活動を行う。仮設住宅・災害公営住宅の住民との世代間交流による心の復興の促進と、ワークショップによる発信を通じた震災の風化防止を目指す。	石巻専修大学経営学部山崎ゼミナール	石巻市	2,000
24	「被災地で共に創るみんなの居場所」事業	手しごとに代表される地域の伝統文化の継承が困難となった被災地域において、ワークショップと茶話会を定期的かつ継続的に実施し、ものづくりの楽しさを体感しながら世代を越えて交流を深められる場を創出する。人との結びつきを感じ、支えあう仲間がいるという安心感を得ることで、心の癒しと一体となった地域コミュニティの再構築を行う。	一般社団法人WATALIS	亶理町	5,200
25	伝承と未来へ・石巻11アートイベント2016”被災野に大きな大きな花アート”+ ”花アート手仕事”	花アートをテーマに「被災地域活性化」「被災者生きがいづくり」「被災伝承と風化防止」を目的としたイベントを開催する。長〜いロール紙や巨大紙に、子ども達や被災者が域内外・多世代の参加者と共に大きな花アートを描き上げる。また、仮設住宅や災害公営住宅の集会所で花アートのワークショップを開催する。	花とアートで再生復興プロジェクト委員会	石巻市	6,000
26	地元住民による 世代間交流生活再建サポート事業	仮設住宅や公営住宅の集会所等を使ってサロンを開催し、世代を超えたゆるやかなネットワークと、適切な距離感をはかり、住民が互いにサポートしあえる環境づくりをしていく。	みやぎジョネット	南三陸町	13,500
27	地域住民とつくる「TOHOKU おらほナビ 〜ご自慢料理〜」	地域資源を活かし、住民自らが誇りに思える交流コンテンツを作り出し、活躍の場を創出することを目的に、仮設住宅や公営住宅など地域コミュニティで料理をツールに住民が集まる機会を創出する。また、地域の食材を使用した料理で、ビジターと地元住民の両方が参加できる交流の機会を作る。	NPO ぐるぐる応援団	石巻市、東松島市、女川町	7,000
28	交流&傾聴カフェ	仮設住宅や復興住宅の集会所での「傾聴茶話会」を開催。そのための御連絡ともあわせて仮設住宅の個人宅、独居個人宅、高齢者施設を訪問して傾聴活動を行う。また、県内各地で「交流&傾聴カフェ」を開催し、被災者と住民の支え合い、生きがいづくりを支援していく。	特定非営利活動法人 仙台傾聴の会	仙台市、名取市、岩沼市	4,500
29	亶理地区住民伴走事業	被災者の抱える課題を引き出す傾聴活動を行うと同時に、被災者及び被災地区にこれからどのようなサポートや活動が必要であるか取りまとめていく。地域イベントやお茶サロン、食事会などを開催し、地域の交流の中で少しでも重荷を下ろしていく環境を創る。	特定非営利活動法人 亶理いちごっこ	亶理町、山元町	4,800
30	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	被災者の方が、地域住民・子ども・大学生・高齢者等さまざまな世代といっしょに、ともに汗をかき楽しみながらハーブや農作物づくり、育てたハーブや農作物によるメニュー開発、開発したメニューによる交流会等の「多世代協働による食づくり」等を行う。被災者の方が、生きがいをもって幸せに歳を重ねることを目指す。	ハッピープロジェクト	仙台市、東松島市、松島町、	3,300

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
福島県					
31	元気モールを核とした心の復興プロジェクト	筋肉トレーニングなどの軽運動や指編み教室など気軽に取り組むことができる企画を常時開催する。また、イベントとしてリレーマラソンや相馬野馬追祭り応援団活動などを行う。体と心を動かすことで、社会性と元気を取り戻していく。	NPO法人はらまちクラブ	南相馬市等	10,500
32	笑顔Again！応援事業	避難者が心身の健康を確保するとともに、主体的に参画できる地域コミュニティを再生するため、仮設住宅を訪問し、手軽な運動あそびや体操を行うことで、避難者の「心の復興」を支援する。	特定非営利活動法人福島県レクエーション協会	福島市、相馬市、二本松市	2,100
33	夢工房葛桜復興交流拠点化推進事業	木工加工品の制作とスポーツクラブの健康指導などを通年開催し、復興公営住宅やその近郊に移住する方々との繋がりを維持するとともに、高齢男性の引きこもりや孤独死防止のため男性の居場所作りに努める。	特定非営利活動法人おにスポ	葛尾村	2,800
34	伝統文化・人形浄瑠璃体験を通じた福島県への心の復興事業	子どもたちや避難者に対する心のケア、地域コミュニティの再生、地域活性化の一助のため、伝統文化である人形浄瑠璃体験を通し、子どもたちや地域住民の方々のコミュニケーション力を高め、豊かな想像力や生きがいを育む文化的支援を行う。	やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト	福島市、川俣町、富岡町、田村市	3,300
35	ふくしま「人の駅」創生事業～「語り人」活動による町中交流の拡大	避難者自身による現状と復興への思いを語り伝える「語り人」活動を展開し、避難者自身や避難者同士、また、避難者を受け入れている市町村の人々との理解と共感をもとにした交流を図っていく。	富岡町3. 11を語る会	郡山市、いわき市、富岡町等	7,000
36	特産かぼちゃ等を活用した生きがいと心身の健康増進支援事業	避難者の「前向きに生きる心」「自らが地域復興を担う」といったマインドの醸成を目的として、農園リハビリ、商品制作ワークショップ、品評会を兼ねた交流会等の活動を行う。	特定非営利活動法人かーちゃんのカ・プロジェクトふくしま	福島市、伊達市、田村市、檜葉町、飯舘村、葛尾村、川内村	3,000
37	大熊町民によるまちづくりワークショップと現状視察および思い出共有ワークショップ	避難生活を余儀なくされている大熊町において、町内視察とまちづくりワークショップを実施する。各種イベントと連携し、住民の「思い出」をワークショップ形式で吸い上げていく。「自分の目でふるさとを見られること」「自分の口で未来の大熊への想いを言えること」の町民へ与える効果は大きく、町民の心の復興に寄与していく。	特定非営利活動法人大熊町ふるさと応援隊	大熊町	2,800
38	避難住民と地元住民の交流活動事業	災害公営住宅入居者の新たなコミュニティー形成のため、サロンや地域住民との関係構築が持てる各種多世代交流事業及び、子どものストレス発散等のための冒険遊び場プレイパークを開催する。	特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ	浪江町、飯舘村、福島市	4,800
39	つながりを耕すコットンプロジェクト	地域農業と人のつながりの再生を目指して綿の有機栽培と、収穫綿を使った手工芸品作りの活動を両地域で展開する。幅広い層が立場の違いを超えて体験を共有することで、住民同士の摩擦を解消する。	特定非営利活動法人ザ・ピープル	いわき市、広野町	3,000
40	オリーブ畑で遊ぼう	避難者がオリーブの挿し木、苗木や管理、畑での農作業、収穫を行う。また毎週全国から集まる県内外の学生を中心としたボランティアの人たちとの交流、食事会、オリーブの葉、枝などを使ってのリースづくりワークショップを行う。そこで生まれる新しい人との絆とオリーブ栽培の技術が故郷での希望のきっかけとなることを目指す。	特定非営利活動法人いわきオリーブプロジェクト	いわき市	4,200

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
41	富岡に思いを馳せ、染め・織りを通して、地域町民とのコミニターの活動	地域コミュニティや生きがいつくり等を目的に、町民有志で集まり、藍染や草木染め、裂き織り等の体験や製品を製作・販売する。ふるさとを想う町民の心の希望を見出し、また、富岡の新しい文化を創り出すことにより、心の復興に繋げていく。	おだがいさま工房	富岡町、郡山市、三春町	2,200
42	ベテランママの会高齢者ケア活動	震災による生活環境が変化した高齢者等が、「自分史ノートづくりとワークショップ」を通じ、これまでの人生を振り返り今なすべきことに向き合う機会をつくる。また、編み物教室サークル等の「ベテランサロン」の各種取組に参加してもらうことにより、楽しく前向きに生きられるようサポートする。	ベテランママの会	南相馬市等	8,800
43	自分自身を見つめ直す心のセルフケア支援プロジェクト	災害弱者である高齢者や子どもを対象とし、地元史・自分史づくりや身体詩などの活動を通して、自分自身と地域のつながりに対する誇りを回復するための自分自身を見つめ直す心のセルフケアを支援する。	まなびあい南相馬	南相馬市	3,000
44	高齢者が元気になる「お茶ベリサロン」&「手もみ・ほぐしサロン」	仮設住宅に居住している高齢者等を対象に、「お茶ベリサロン」&「手もみ・ほぐしサロン」を、健康茶の飲み比べや地域銘菓の食べ比べなどを通じた交流会を行いながら開催し、疲弊した避難生活からの“解放”と“元気”に生きて行こうとする心の復興を支援する。	耐南商事株式会社	いわき市、双葉郡	8,500
45	映像を通して元気を与える「ふくしまのチカラ、映画のチカラ」	避難生活を送る被災者は住民同士の交流が希薄になるなど、コミュニティ維持・形成が重要な課題となっている。災害公営住宅や仮設住宅での映画上映により、コミュニティ形成を図るきっかけづくりや交流が継続するための仕組づくりを進めていく。また、子供たちの交流活動を促進させていくことで、コミュニケーション再生の一助にしていく。	福島こどものみらい映画祭実行委員会	福島市等	4,400
46	福島心の復興 スカイランタンプロジェクト	ランタンなどの手工芸や休耕地での桑の栽培による健康食品、絹製品作りなどの参画機会の提供により、主体的に無理なく活動できる居場所、活力ある仲間とのコミュニケーションの取れる居場所を提供し、自身と誇りを取り戻してもらうためのコミュニティ形成の支援を目指していく。	一般社団法人ビーオーリーブ	飯館村、伊達市等	4,000
47	続けます「いるだけ支援」(仮設住宅拠点化生活支援事業)	学生が年間を通して仮設住宅に居住し、近所付き合いをしながら、簡易な生活支援・声掛けをし、引きこもり防止に寄与する。若者がいるだけで、居住者との世代間の調和や生活や精神面での自立心・主体性の喚起を図り、コミュニティの活気づくりにつなげていく。28年度は、拠点となる仮設住宅を2か所に増やして実施。	(学生団体)福島大学災害ボランティアセンター	福島市、二本松市	3,800
48	福島の民俗芸能を基盤とした地域づくりとその継承事業	南相馬市鹿島区の男山八幡神社浜下りの再興を通じて、被災者や地域住民との交流を図るとともに、同様の境遇にある浜通り被災市町村の民俗芸能団体連絡会の設立を準備し、地域間の連携や交流の輪を拡げていく。	特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会	南相馬市等	7,000
49	ふくしまコミュニティ再生 ～自分らしく活躍出来る場を目指して～	仮設住宅及び復興公営住宅の住民と地域住民との心の交流を目指し、帰還した人たちの交流拠点として、コミュニティに戻るきっかけづくりを行う。震災から6年目を迎え、心の垣根を取り払い、「共に福島で生きる人」として、真のコミュニティを構築していく。多世代交流施設みんなの家を拠点として、様々な季節行事やイベントを開催し、交流を図る。	特定非営利活動法人ビーンズふくしま	福島市	4,000
50	原発事故被災地のコミュニケーションとコミュニティの再生事業	ラジオ体操やヨガ教室などの地域の交流を深めるイベントをきっかけに、コーチングと認知療法の専門技法を分かりやすく一般住民に取り入れながら、コミュニティ内における信頼に基づいた深い交流の再生を目指していく。	特定非営利活動法人みんなのとなり組	南相馬市等	2,400

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
51	ナラノハプロジェクト	仮設住宅での交流会、健康づくりワークショップ、郷土料理会、PR特産品企画開発、檜葉スタディツアー、慰問誘致、イベント企画などを行い、一本一本の葉脈が一枚の檜の葉(ナラノハ)をつくるように、老若男女ひとりひとりが手を取り合って、人と人、町と町を繋げていき、これをきっかけとした町の活性化を目指していく。	ナラノハ	檜葉町、いわき市	7,000
52	原発不安のない子育て環境づくりと専門性ある地域の人材育成事業	「すくのび広場」を拠点として、地域で子供も大人も参加できる様々な季節イベントなどを行い、地域コミュニティの形成やコミュニティの活性化を図る。また、被災者支援や地域貢献者の育成に取り組んでいく。	すくのびくらぶ	いわき市	5,000

被災三県での広域的な取組

53	子育て世代を応援するコミュニティづくり事業	子育て世代を応援するコミュニティの再生と、年配者の生きがいづくり、外部ボランティアを巻き込んだ風化防止を目的に、地域住民が集える居場所をつくり、地元の人を講師とした料理教室や物づくり等の様々なワークショップやイベント、朝カフェ等を行う。	特定非営利活動法人マザーリンクジャパン	陸前高田市、大船渡市、気仙沼市	7,400
54	歌を通じて心と心をつなぎ、笑顔の輪を広げる活動	仮設住宅において、参加者と一緒に歌を唄ったり、談笑を楽しんだりする活動を通じて、入居者や周辺住民などの新たなつながりや交流の機会としていく。	特定非営利活動法人ふれあい会	相馬市、東松島市、宮古市等	7,300
55	ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうりを通した生き甲斐支援	布ぞうりの講習会、勉強会を通して、ものづくりを純粋に楽しんでもらうとともに、布ぞうりを作る仲間ができることで、新しいコミュニティ作りのきっかけとする。	一般社団法人あゆみ	南三陸町、石巻市、東松島市、陸前高田市	2,000
56	震災の記憶と芸術活動に関する心のケア活動	震災後の人々の記憶をアートとして留め、多くの人の心から震災を風化させないことを目的として、海外アーティストと被災住民によるワークショップを開催する。アートは、観賞するだけでなく、記憶を呼び覚ます効果があり、アートに慰められ、振り返る勇気によって、記憶の風化防止と被災住民の心の復興に寄与していく。	特定非営利活動法人岩手未来機構	盛岡市、久慈市、釜石市、大船渡市、福島県内	3,100
57	心と体の栄養復興プロジェクト	「国境なきクリエイション」「健康IKOI隊」の2つの取組により、災害公営住宅の集会所や公民館等で手芸・料理などの交流の場を設け、住民同士、また、同じ被災地内にあって異なる被災状況の住民同士の交流やつながりの創出を促進していく。	特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット	いわき市、郡山市、岩沼市	3,200
58	心の復興推進事業	被災地域の特性を生かした地域創生やコミュニティの再構築による地域活性化を推進するため、行政機関、企業、大学、地域コミュニティ、芸術系団体等の連携により「心の復興推進コンソーシアム」を設立する。復興公営住宅の集会所や学校への訪問コンサートやワークショップ等により、被災者の孤立を解消する取組を展開し、被災者に寄り添った「心の復興」を実現するとともに、支援の地域間格差の解消を目指す。	心の復興推進コンソーシアム	三県内各地	15,000
59	東北お遍路を活用した交流と創造による心の復興プログラム	東北お遍路という新しい観光のファクターづくりに各巡礼ポイントの自治体や市民(被災者)が関わることで、被災者らの生きがいの創造につなげていく。ガイドブックづくりやウォーキングコースづくり、津波にまつわる紙芝居、あるいはスタンプづくりなどの「創作活動」に参加し、自らの故郷を見つめ直し、自分の生きる地域への誇りを取り戻す一助となることを目指す。	一般社団法人東北お遍路プロジェクト	三県内各地	11,500
60	共に生きる 心の復興推進プロジェクト	仮設住宅や災害公営住宅の集会所で「歌声喫茶」や郷土料理を楽しむ会を催したり、地域シンボルをテーマにした被災住民のワークショップの開催などにより、「心の復興」を被災地にゆきわたらせる。被災3県を中心に若者プロジェクトチームを立ち上げ、灯籠流し、海岸清掃活動、農地復興など、被災者との交流の取り組みを実施する。	心の復興推進パートナーズ	福島県、宮城県、岩手県、東京都の各地域	16,000

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
61	日本を元気に！夢の課外授業 SPECIAL	体を動かしたり、自然に親しんだり、学ぶ機会を設け、活動への参加により達成感や地域での連帯感を得ながら、様々な人との交流を図っていく。子ども(小・中学生)を中心とし、また、父兄や地域の住民などの参加も積極的に受け入れることで、現地と協同で取組を進め、一緒に作り上げながら地域住民の絆を深めていく。	二十一世紀倶楽部	岩手県、宮城県、福島県の各地域	8,500
62	被災地から発信する”希望”の展覧会 「いま、ここで生きている」	仮設住宅や災害公営住宅の入居者を対象とした「ものづくり」ワークショップを通して、生きがいつくりやコミュニティの維持・形成、世代間交流につなげていく。また、ワークショップから生まれた作品を、言葉やメッセージ、ポートレイト写真と共に紹介する展覧会を開催し、被災地以外の人々とも思いを共有する場、交流を温める場を創出することで、震災の風化防止を図っていく。	ARTS for HOPE	岩手県釜石市、大船渡市、陸前高田市／宮城県女川町、石巻市、名取市、七ヶ浜町／福島県大熊町、浪江町、相馬市、南相馬市他	17,000
63	対話カフェを取り入れた複合イベントによる心の復興	映画鑑賞・音楽イベント等アミューズメント型イベントに、心の健康度可視化セルフチェックや対話カフェをセットして実施し、自己覚知による自立とコミュニティ再生の啓蒙を図っていく。	一般社団法人 JAST(日本ソーシャルセラピストアカデミー)	福島県(福島市、会津若松市、郡山市、伊達市、南相馬市、いわき市)、宮城県(石巻市、東松島市)、山形県(山形市、米沢市、天童市、寒河江市、長井市、鶴岡市、酒田市、高畠町、南陽市)、東京都江東区・千代田区等	8,200
64	福島復興bonダンス絆再生プロジェクト	仮設住宅、災害公営住宅等に住む同じ被災者との対話・交流し、各地域に伝承されてきた郷土舞踊を取り込んだ地縁再生の「復興bonダンス」づくりを推進する。世代を超えた被災者同士が今の心を聞き合い、語り合いながら体験を共有することにより、震災記憶の風化を防ぎ、「わがまち」意識を醸成する盆踊りをみんなでつくり直すことを通じて、参画機会の創出やコミュニティ再生を目指していく。	特定非営利活動法人 ダンス博(申請中)	三県内各地、東京都	6,200
65	震災復興支援 家族ロボット教室	仮設住宅などに引きこもりがちな子どもとその家族に、ロボット教室を通じ、好奇心や探求心を刺激し、期待感や達成感を充足する機会を提供することで、周囲との交流を広げ、前向きに暮らす人々を増やしていく。地域の大学生などもボランティアスタッフとして関わり、世代を超えて多様な立場の人々と協力して取り組んでいく。	株式会社 富士通コンピュータテクノロジーズ	三県内各地	3,000
66	ドキュメンタリー映画「被災地とつながる人々(仮題)」制作事業	被災県3県でワークショップを行い、参加者の体験を映像化していく。被災された方々や行政・復興支援されている方々を撮影して映画として記録に残す。映画の作成に多くの被災者の方々に参画いただく。完成した映画は、東北地方のみならず日本各地や世界各地で上映し、震災の風化防止を行うとともに、被災地の人々が力強く立ち直る姿、日本の底力を映画を通じて伝えていく。	「被災地とつながる人々」製作委員会	岩手県釜石市、宮城県石巻市、女川町、福島県郡山市、川内村	19,800

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

①「心の復興」事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
被災三県外での取組					
67	福島こころの公民館事業	避難者が自由に利用できる公民館を設置するとともに、交流や文化的活動を開催することで、避難生活の不安を解消すると共に安定した生活を送ることを目指し、更には孤立や引きこもり等も防止していく。	やまがた絆の架け橋ネットワーク	山形県内	3,600
68	避難者の生きがい・やりがいづくりを広げるため、交流サロンをコミュニティカフェへ発展させます	コミュニティカフェ「黄色いハンカチ」において、手芸、パソコン、健康体操など避難者自らが協働して活動・働くことにより、避難者同士のつながりを深めるとともに、避難先の地域に溶け込み、地域住民とのつながりを広げていくきっかけを作る。	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト	千葉県松戸市等	2,500
69	東京・埼玉・神奈川における『県外避難者の活力増進』と『風化防止』プロジェクト	日々の生活の活力を引き出し、主体的な行動を促すことを目的として、日常の相談対応やアドバイスと共に、絵画や料理などをテーマとした参加型の各種教室、新たな仲間づくりができる交流会を開催する。また、首都圏では震災の風化が進んでいる現状から、大震災の経験や避難者の現状を伝える展示フォーラム等を開催する。	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	東京都内、埼玉県内、神奈川県	14,500
合計					407,900

(別添2) 平成28年度被災者支援総合交付金（第1回）交付可能額（団体別）

②被災者支援コーディネート事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
1	被災者支援のための被災3県及び東京におけるコーディネート事業	被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、「円滑な住宅・生活再建の支援」「心身のケア」「生きがいづくりによる『心の復興』」「コミュニティ形成の促進」等の実現・充実に取り組む。 ①災害公営住宅等におけるコミュニティ形成による被災者支援の実現 ②被災地・東京にて、支援団体・企業の間を広いネットワークを有するコーディネータの連携による効率的・効果的な情報収集 ③被災者支援の活動団体との連携による、新たな支援活動の実現の加速化	株式会社 三菱総合研究所	東京都 岩手県 宮城県 福島県	102,885
2	多様な担い手による、岩手県内被災者支援コーディネート事業	被災者支援「心の復興」「コミュニティ再建」に向けた課題解決及び支援体制の構築を行うために被災者支援コーディネーターが下記を実施。 ①被災者及び、自治体、支援団体による活動の課題やニーズの把握・整理 ②新たな活動主体の参画や、既存団体、自治体との連携コーディネートによる支援体制づくり ③企業のCSRと自治体、支援団体とのニーズマッチング	特定非営利活動法人 いわて連携復興センター	岩手県	14,988
3	宮城県域における被災者支援コーディネート事業	被災者や被災者支援に取り組む多様な担い手（自治体・支援組織・企業等）による活動の推進を総合的に支援するため、宮城県内に担当コーディネーターを設置し、以下の事業を実施。 ①被災者支援に取り組む多様な担い手（自治体・支援組織・企業等）の課題・ニーズの把握・整理 ②被災者支援体制・復興推進体制の継続・拡充に向けた各種コーディネート ③事業計画・報告共有及び管理・推進マネジメント	一般社団法人 みやぎ連携復興センター	宮城県	16,256
4	福島県における被災者支援コーディネート事業	各種社会資源とのコーディネートを通じて、復興の長期化が予想される福島において、地域復興の担い手を創出。 ①自治体及び被災者の課題やニーズの把握・整理 ②新たな活動主体の参画や支援人材の確保等を通じた支援体制の充実 ③企業の社会貢献活動（CSR活動）と自治体ニーズのマッチング	一般社団法人 ふくしま連携復興センター	福島県内	16,140

合計 150,269

③被災者見守り・相談支援事業 (千円)

No.	事業名	取組内容	提案団体名	対象地域	交付可能額
1	被災者見守り・相談支援事業	全国を対象に実施しているよりそいホットラインと連携し、被災者の抱える生活上の課題の解決に向け、必要な相談支援や地域の社会資源とのネットワークを活かした自立支援等の取組を行う。	一般社団法人社会的 包摂サポートセンター	岩手県 宮城県 福島県	380,000

合計 380,000

被災者支援総合交付金（復興庁被災者支援班）

（別添3）

28年度予算額 220.3億円【復興】

（27年度予算額 58.9億円）

事業概要・目的

○ 被災者支援については、震災から5年が経過し、避難生活の長期化や災害公営住宅等への移転など、復興の進展に伴う課題への対応が必要となっている。

○ 28年度は、交付金を大幅に拡充し、被災者の生活再建のステージに応じた、切れ目ない支援の実現を図る。

＜主な拡充内容＞

- ① 仮設住宅で長期避難を続け、閉じこもりがちな高齢者の交流機会を創る活動や、被災地の将来を担う子どもや若者のケアなどを支援する「心の復興」事業を新たに交付金の対象とする。
- ② 被災者の移転に伴うコミュニティ形成や、既存のコミュニティとの融合といった被災地で生じている課題に対応するための活動を支援。
- ③ 自宅再建や生活再建の見通しが立たない方々について、相談支援体制を強化する「住宅・生活再建支援」の取組を支援。
- ④ 見守り・相談支援を一元的に支援して体制を更に強化し、緊急雇用で実施されてきた見守りの活動についても交付金で支援。
- ⑤ 仮設住宅提供の今後の方針を示した福島県について、県外避難者の相談支援や自主避難者の方々への情報提供を支援。

事業イメージ・具体例

I. 各地域の被災者支援の重要課題への対応支援 【追加・統合】

①被災者支援総合事業

- ・住宅・生活再建支援
- ・「心の復興」
- ・高齢者等日常生活サポート
- ・コミュニティ形成支援
- ・県外避難者支援
- ・被災者支援コーディネート

II. 被災者の日常的な見守り・相談支援 【統合】

②被災者見守り・相談支援事業

III. 仮設住宅での総合相談・介護等のサポート拠点の運営【統合】

③仮設住宅サポート拠点運営事業

IV. 被災地における健康支援 【統合】

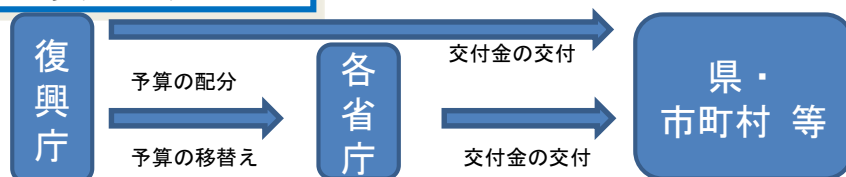
④被災地健康支援事業

V. 子どもに対する支援

⑤被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業

⑥福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業

資金の流れ



期待される効果

○被災者支援の基幹的事業について、被災自治体において横断的な事業計画を策定し、交付金による一体的支援が行われることにより、各地域の実情に応じて、より効果的・効率的な被災者支援活動の展開が期待される。

住宅・生活再建支援事業

【被災者支援総合事業①】

趣 旨

- 復興の進展に伴い、仮設住宅から災害公営住宅等への移転が進捗しつつある自治体において、ひとり暮らし高齢者等、自身では住宅・生活再建の見通しが立たない方々への相談支援が、重要な課題となっている。
- こうした方々への重点的な相談支援のため、各自治体において、仮設住宅入居者の日常生活を支える既存の見守り体制とは別に、専門家の協力も得つつ、生活再建のための相談支援体制の整備を図る。

事業の概要

- ①「生活再建相談員」の訪問による相談支援、再建計画づくり支援、転居先確保関係の手続の同行支援
- ②仮設団地での出張相談、法律・住宅・福祉等の専門家による相談支援
- ③民間賃貸住宅の情報提供、相談センターの設置
- ④生活再建相談員の資質向上のための研修会等の実施



個別訪問や出張相談による相談支援
(生活再建相談員 + 法律・住宅・福祉等の専門家)



民間賃貸物件に関する情報提供等
(相談センター)

住まいや生活再建の見通しが立たない仮設住宅入居者等



再建計画の策定

- 新たな住まいの確保
- 転居手続の支援



- 福祉サービス利用の援助
- 生活再建のサポート



コミュニティ形成支援事業

【被災者支援総合事業②】

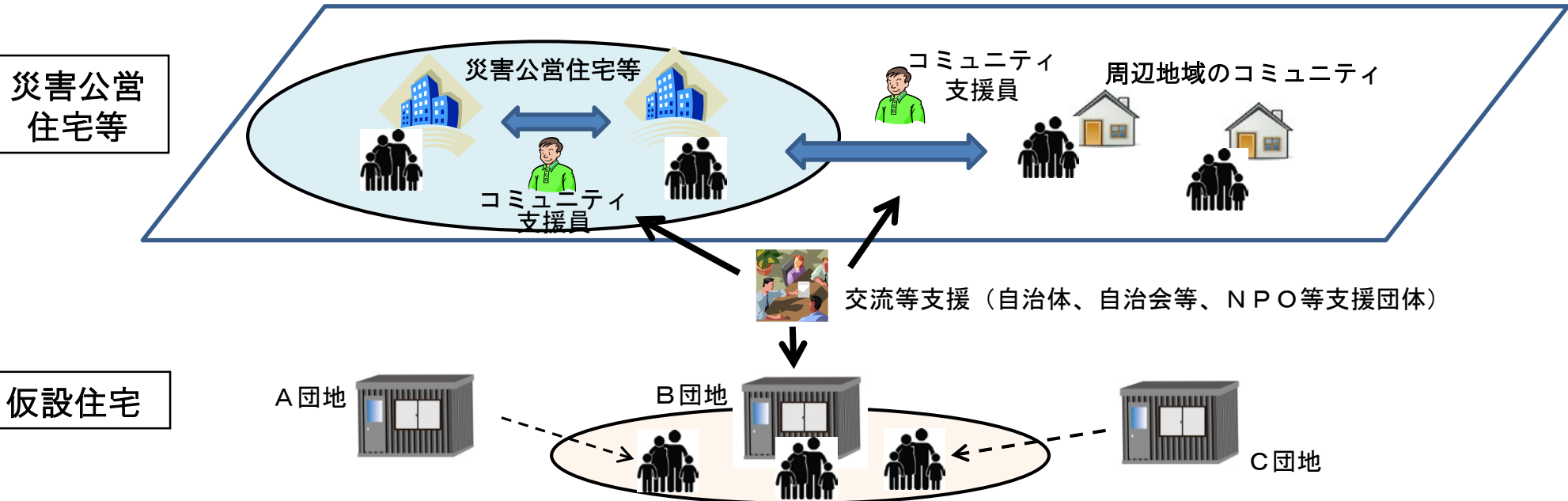
趣 旨

○被災地では、災害公営住宅への移転が進捗する中で、移転後の住民同士の新たなコミュニティづくりや、災害公営住宅へ移転した被災者の方々と、住宅周辺の既存の地域コミュニティとの融合が課題となっており、これらを支援する取組の充実が必要。

○併せて、各自治体において、仮設住宅の集約化を図るに当たり、入居者の移転後のコミュニティ形成を円滑に進めるため、支援を行っていくことが必要。

事業の概要

- ①仮設住宅や、災害公営住宅等で、自治体、自治会等の地域コミュニティ組織や、NPO等支援団体が取り組むコミュニティ形成の活動を支援。
- ②災害公営住宅等で、住宅内のコミュニティ形成や、住民と既存の地域コミュニティとの融合を支援する人材(コミュニティ支援員)を配置。



「心の復興」事業

【被災者支援総合事業③】

趣 旨

- 仮設住宅での避難生活の長期化とともに、災害公営住宅への移転の進捗に伴う新たなコミュニティづくりが重要課題となっている中で、被災者が参画し、自ら活動する機会の創出を通じて、閉じこもりがちな高齢者等が、人と人とのつながりや、生きがいを持つことを支援する取組の重要性が増している。
- このため、上記のような取組が、各地域に根付くよう支援を図っていくことが必要。

取組事例

各地域において、被災者が参画する以下のような取組を実施。

1. 農業

共同で農作業を行うとともに、収穫した野菜で収穫祭や料理教室を実施し、地域コミュニティづくりに貢献。



2. 伝統文化

人形浄瑠璃の体験ワークショップ及び発表会を通して、仮設住宅入居者と避難先の地域住民が交流できる場を提供。



3. ものづくり

仮設住宅入居者等を対象に、布ぞうりの勉強会、制作を行い、新しいコミュニティ形成のきっかけとする。



4. 世代間交流

学生が仮設住宅に居住し、住民と共に生活する中で、コミュニティ内での助け合いを活性化。



被災者生活支援事業

【被災者支援総合事業④】

趣 旨

- 長期化する仮設住宅での避難生活において、一人暮らし高齢者等が、買い物や通院など、日常生活上の不便を強いられるケースが生じており、また、自宅再建を果たした被災者の仮設住宅退去が進み、自治会機能が低下し、仮設住宅における生活環境の維持が懸念されている。
- 多くの自治体において、これまで、これらの課題に対応するため、緊急雇用(震災等対応雇用支援事業)の枠組みを活用した支援を実施してきたところであるが、同事業は27年度限りで終了となったところ。
- こうした状況を踏まえ、仮設住宅等での被災者の日常生活支援を実施する。

事業の概要

仮設住宅等に「被災者生活支援員」を配置し、以下のような支援を実施。

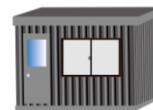
- ① 仮設住宅等で、日常生活上の困り事(通院、買い物など)を抱える被災者の支援を行う
- ② 仮設住宅の入居者からの生活・住宅環境に関する相談への対応等を行う 等

取組事例



<取組①>

高齢者等を対象とした
移動支援等



<取組②>

仮設住宅入居者の相談への対応、
自治会活動の支援、ボランティア受
入れ調整、住宅の軽微な修繕、広
報文書・支援物資の整理・配布等

被災者支援コーディネート事業

【被災者支援総合事業⑤】

趣 旨

- 仮設住宅での避難生活の長期化や、災害公営住宅への移転の進捗により、移転後のコミュニティ形成の支援が新たな課題となるなど、各地域において、様々な被災者支援の課題に直面する中で、それぞれの地域の実情に対応した効果的・効率的な支援活動の実施が必要。
- このため、コーディネーターが、地域のニーズ・課題の整理等を行った上で、新たな活動主体の参画促進、自治体と企業・NPO等とをつなぐなど、県内各地域における被災者支援活動の実施を支援。
- また、各地域において、効果的な支援活動を実施するためには、多様な支援者間の密接な連携体制の確保が必要。

事業の概要

1. コーディネート事業

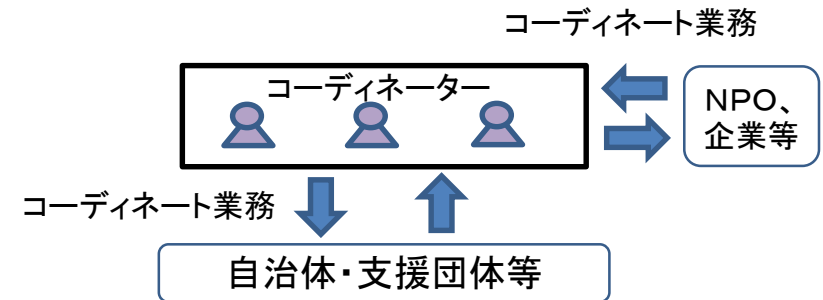
コーディネーターが、各地域において、以下の調整業務等を実施。

- ①被災者支援に関連して、新たな活動主体の参画や支援者間（相談員、復興支援員、NPO、ボランティア等）の連携強化
- ②企業CSR活動（社会貢献活動）と地域ニーズのマッチング

2. 被災者支援調整会議の開催等

被災者支援の関係者による「被災者支援調整会議」の開催等を通じて、地域における支援者間での課題の共有、活動内容の調整等を行い、被災者支援ネットワークを構築する。

【実施イメージ】



県外避難者支援事業

【被災者支援総合事業⑥】

趣 旨

- 避難生活が長期化する中で、県外避難者の帰還・生活再建を促進するための相談支援・情報提供の取組は、引き続き重要な課題。
- 特に、平成27年度で復興庁の「県外自主避難者等への情報支援事業」が終了することに加え、福島県では、平成29年3月で自主避難者に対する仮設住宅の提供を終了する方針を公表しており、これらを踏まえ、県外避難者の帰還・生活再建を円滑に進めるため、県外避難者への相談支援・情報提供等の取組について、重点的な支援を図る。

事業の概要

- ①県外避難者への相談支援を行うNPO等支援団体の活動支援
- ②県外避難者の避難元自治体の現状の理解促進や、帰還後のネットワーク形成を支援するための交流会等の開催
- ③県外避難者の帰還・生活再建に係る情報提供、説明会の開催

取組事例(福島県)

(1) 県外避難者支援団体の活動支援

支援団体による相談、見守り、交流の場の提供などの支援活動を助成。

- ①県外支援団体による支援活動
- ②福島県内で、県外避難者と県民・県内支援団体との交流会
- ③避難先で、福島への帰還者が福島の現状等を話す交流会 等

(2) 県外避難者の「生活再建支援拠点」の設置等

- ①避難先で帰還や生活再建について直接相談できる「生活再建支援拠点」(全国20カ所程度)の設置
- ②「生活再建支援拠点」所在地を中心に、帰還や生活再建に関する支援策の相談会、説明会の開催等

平成28年度 「心の復興」事業 ～主な取組事例について～

本資料は、平成28年度被災者支援総合交付金の第1回配分により、「心の復興」事業として採択された事業のうち、農業、ものづくり、伝統文化、世代間交流など、各分野で、多くの仮設住宅や災害公営住宅の入居者等を対象に実施される主な取組を取り上げたものです。

平成28年4月

伝統文化・人形浄瑠璃体験を通じた 福島県への心の復興事業

「心の農園」プロジェクト



人形浄瑠璃の体験ワークショップ及び発表会を通して、仮設住宅入居者と避難先の地域住民が交流できる場を提供し、地域コミュニティの強化を図る。

(参加人数250人 うち仮設、災害公営入居者110人)

実施地域

福島市、川俣町、郡山市、田村市

実施主体

やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト



共同で農作業を行うことにより、ストレス解消を図るとともに、収穫した野菜で収穫祭や料理教室を行い、地域コミュニティづくりに貢献する。

(参加人数380人 うち仮設、災害公営入居者210人)

実施地域

石巻市

実施主体

NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター

ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうりを通した生き甲斐支援

仮設住宅居住者等の生きがいづくりとしての農園運営及びものづくり支援事業とサロン運営



被災地の仮設住宅入居者等を対象に、布ぞうりの勉強会、製作を行う。ものづくりを楽しむと同時に、一緒に作る仲間ができることで、新しいコミュニティ作りのきっかけにする。

(参加人数520人 うち仮設、災害公営入居者412人)

実施地域

宮城県南三陸町、石巻市、東松島市、
岩手県陸前高田市

実施主体

一般社団法人あゆみ

仮設住宅入居者等を対象に、孤立感を緩和するために、農作業やひょうたんランプなどの工芸品のものづくりに取り組める場を運営する。また、高校生主体でのサロンを運営し、世代間交流を行う。

(参加人数100人 うち仮設、災害公営入居者85人)

実施地域

大槌町

実施主体

新生おおつち

もの
づくり

事例5

被災地から発信する“希望”の展覧会
「いま、ここで生きている」

世代間
交流

事例6

続けます「いりだけ支援」
(仮設住宅拠点化生活支援事業)



3県の仮設住宅、及び災害公営住宅入居者を対象として定期的に自作の手芸品を作る「ものづくり」ワークショップを開催し、生きがいつくりやコミュニティの形成や世代間交流につなげる。

(参加人数790人 うち仮設、災害公営入居者540人)

実施地域

岩手県釜石市、大船渡市、陸前高田市
宮城県女川町、石巻市、名取市、七ヶ浜町 福島県大熊町、浪江町、相馬市、南相馬市 他

実施主体

ARTS for HOPE

学生が年間を通して仮設住宅に居住し近所付き合いをしながら声掛けし、引きこもり防止に寄与する。学生と住民が調和しながらコミュニティ内での助け合いを活性化させる。

(参加人数520人 うち仮設、災害公営入居者380人)

実施地域

福島県浪江町住民
(福島市、二本松市の仮設住宅)

実施主体

福島大学災害ボランティアセンター